

質問回答書

令和8年度 三宅町学校・地域パートナーシップ事業 子ども体験教室運営業務について、次の項目を回答いたします。

質問項目	質問内容	回答
対象学年について	安全管理や内容の難易度の観点から、内容によって、対象学年を設定することは可能でしょうか？（4～6年など）	小学校1年生から6年生までを対象としてください。
定員について	定員はどのように定めますか？ 各回の内容により、こちらで決めても問題ありませんか？	問題ありません。
最低実施人数について	最低実施人数は設定しますか？ 下回る場合は、どうなりますか？	最低実施人数は設定しません。ただし、少人数の場合の実施は協議のうえ、決定します。
実施日について	実施日は、受託者が提示した候補日から、三宅町様と協議の上で決定する流れでよいでしょうか？	本町との協議にて実施時期を決定します。
参加料について	材料を必要とする場合など、参加料の上限はどのくらいが妥当でしょうか？（1回500円程度など）	参加料の上限については、500円程度を目安としてください。
使用する備品について	例えば、糸ノコギリなど、小学校にあるような備品は お借りすることができますか？	小学校の備品は貸し出しできません。
Chromebookについて	児童の端末（Chromebook）を使用することは可能でしょうか？	使用できません。
成果物について	成果物は必ず当日持ち帰らせないといけないでしょうか？ 例えば、粘土やボンド、絵の具作品など、後日の返却は可能でしょうか？	成果物の後日返却は可能です。ただし、作品の保管から児童への返却完了までの一連の対応については、受託者側の責任において確実に行ってください。

分野について	様々な文化を中心に、フィールドワークを組み合わせた内容を検討しております。そういった構成でも多様な体験・活動と認められますでしょうか？	仕様書のとおり、幅広い分野から選定することを想定しています。
講師について	毎回ワークショップの始めに、講師が何者かを伝えることを目的として、紹介する時間を取っても問題ないでしょうか？	問題ありません。